国立療養所 沖縄愛楽園

理念 「入所者・高齢者が安心して生活できる場の提供」

国立療養所沖縄愛楽園は沖縄本島北部の名護市屋我地島にある、昭和13 (1938) 年に開園されたハンセン病療養所です。入所者数96名、平均年齢約85.9歳(2023年7月現在)と入所者数の漸減並びに高齢化が進んでいます。基本理念である<入所者・高齢者が安心して生活できる場の提供>を達成するために職員が一丸となって、こころ豊かに生きるための援助(ライフサポート)に向けて日々活動しています。

【施設概要】 2023.7.1 (データは 2022 年度実績)

1. 所在地 〒905-1635 沖縄県名護市字済井出 1192 番地

2. 特徴 国立ハンセン療養所

3. 診療科 9診療科

内科、精神科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、

眼科、耳鼻咽喉科、歯科

病床数 医療法許可病床数 419 床 収容可能病床数 122 床

4. 薬剤師数(定数:3名) 薬剤科長1名、副薬剤科長1名、主任1名、薬剤助手1名

5. 主な業務

(ア)調剤 処方箋枚数 入院 6613 枚/年、外来 341 枚/年(院外処方箋発行率 0%)

(イ)注射 注射箋枚数 入院 1971 枚/年、外来 0 枚/年

(ウ)薬剤管理指導件数 施設基準なし(エ)無菌製剤処理料 施設基準なし(オ)外来化学療法加算 施設基準なし(カ)病棟薬剤業務 施設基準なし

(キ)チーム活動 ICT (加算なし)、NST (加算なし)、褥瘡対策、緩和ケア、医療安全

6. 特徴的な業務

- 入所者がこころ豊かに生活するための支援(ライフサポート)
- ▶ ハンセン病の啓発活動
- ▶ 持ち込み薬剤(持参薬)の鑑別・服用中薬剤との相互作用チェックの実施
- ▶ 特殊製剤の調製 (皮膚科)

7. 2023年度の取り組み

▶ 各センター (病棟) への薬剤師配置

医薬品適正使用推進のため、入所者の服薬指導の充実やアドヒアランス向上、ポリファーマシー対策、看護師等への薬剤に関する情報提供・教育の充実等に取り組んでいる。また、多職種カンファレンスへの参加も積極的に行っており、入所者のライフサポートにも取り組んでいる。

▶ 緩和医療・終末期医療への取り組み

緩和医療・終末期医療は"がん"だけではない。高齢者の様々な苦しみに対し、多職種と協力しながら薬学的介入を行っている。

8. システム・設備

項目	有・無	項目	有・無
電子カルテ	×	オーダリングシステム	\circ
自動錠剤分包機	\circ	一包化薬剤監査システム	\circ
散剤監査システム	\circ	モバイル調剤監査支援システム	\circ
水剤監査システム	\circ	処方チェックシステム	\circ
散剤分包機	\circ		
安全キャビネット	×		
クリーンベンチ	×		

9. 病院目標(基本方針)

- 1. 入所者の権利及び人格を尊重します
- 2. 快適な療養環境を提供します
- 3. 信頼される医療・看護・介護をめざします
- 4. ハンセン病の更なる啓発活動に努めます
- 5. 医療の質の向上のため、職員の教育・研修に努めます

【2023年度病院目標】

- 1. チーム愛楽園 (多職種協働) によるライフサポートの推進
- 2. 国立療養所沖縄愛楽園の将来のあり方の推進
- 3. 職員確保対策等の推進
- 4. 入所者の療養環境の向上及び看護・介護の充実
- 5. 職員の知識・技術の向上とチーム医療の推進
- 6. コンプライアンスに基づく適正な業務の推進

【2023年度薬剤科目標】

- 1. 安心・安全な医療の提供
 - ・入所者個人に合わせた医薬品の適正使用推進
 - ・ 抗菌薬の適正使用推進
 - ・他職種と連携した副作用の早期発見
 - ・ 感染対策の徹底
 - ・チーム医療への積極的な参画
- 2. 薬剤情報の積極的な発信
 - ・各部署への出前講座や DI ニュースの発行
 - ・入所者のアドヒアランス向上に向けた取り組み(各センターへの薬剤師の配置)
- 3. 後発医薬品への切替促進と薬剤の安定供給の両立
 - ・期限切れ廃棄医薬品の削減
 - ・不要な医薬品在庫の削減(適正化)
- 4. ワークライフバランスの推進
 - ・年休取得の推進
 - ・資格取得等、個人のスキルアップ
 - ・ライフサポート活動への積極的参加